

# アトリエ授業報告書

日にち 5月6日(土)

報告者 保護者

生徒人数 10人

## 1.授業内容

### (1)挨拶

大きな声で、きちんとあいさつができていました。

### (2)宿題回収

全員が宿題を提出していました(「毎日のドリル」。これのチェックがアシスタントの大切な仕事です)。

### (3)出席確認

開始時刻に少し遅れた生徒もいましたが、授業に入るタイミングでは、名簿にある全員が出席していました。

### (4)漢字の説明

5月13日、20日は休みなので、その間の宿題の説明がありました。漢字の書き順を先生が板書しながら数字を振って説明しました。生徒たちは熱心にそれを写していました。

### (5)口頭による短文の発表

クラスを2グループに分け、ゲーム形式で口頭で日本語の短文を作り、それを練習をしました。

皆さん、先生のサポートも受けて、上手に出来ました。当日は、ディクテーションの試験はありませんでした(予定通り)

### (6)休憩

配布された柏餅を食べました。

### (7)双六作り

先生が黒板に本物の双六ゲームを貼り、それを説明した後で、5人ずつのグループで実際に作り始めました。言葉のカテゴリーを「乗り物」「食べ物」「宇宙」など好き好きに選んで、皆楽しんでいました。この作業は次回に続きます。

### (8)宿題

漢字プリント3枚、「えにっきをつくろう」2枚

## 2.授業理解度

3.5 やはり説明を聞くよりも、作業の方が楽しいようです。

## 3.良いと感じた点

生徒が先生を信頼していることが、よくわかりました。先生の工夫で、生徒は楽しんで授業に取り組んでいます。やっている内容は語学教育としては低いレベルではないと思います。

#### 4.問題点

柏餅を食べたこととも関連していると思いますが、休憩が終わってからトイレに行く生徒さんが若干名いました。

#### 5.課題、その他

保護者としては、できるだけ、休ませないで授業に参加させることが何よりも重要であると感じました。

授業中、英語が聞こえます（恥ずかしながら愚息が特に気になる）が、先生はこれを否定することなく、上手に日本語に誘導してくださっています。引き続き、家庭内での日本語使用を徹底しようと思いました。

アシスタントをやらせていただいて、非常に勉強になりました。

日にち 5月27日

報告者 ボランティア保護者

生徒人数 9人

#### 1.授業内容

- 1.体に関する漢字の練習。 ノートに各自練習後、黒板に先生が絵を描いてそれぞれ子供がチョークで漢字をかく。
- 2.外で遊ぼうのプリントー泥遊び、シロツメクサの冠など
- 3.言葉を作ろうプリントーしりとり
- 4.すごろくを作るー以前のクラスからの引き続きアクティビティ

2.授業理解度 良

#### 3.よいと感じた点

- \*先生がゆっくり説明するのがわかりやすい。
- \*黒板にいくつも漢字を書かせていたのは、練習になっていい方法だと思った。
- \*すごろく作りでは、みんな積極的に参加して楽しそうだった。
- \*話しかけると、みなとてもよく理解できている。

#### 4.問題点

- \*生徒が発言する場が少ない。発言ができないので、つい英語になってしまっていた。

#### 5.課題

- \*レベルに差があるので、早く理解出来てしまう子が手持ち無沙汰だったので、何らかの対策があるとよい。
- \*もう少し会話が練習できるとよかった。

#### 6.会話の練習を増やすための提案

\*例えば、簡単な単語（子供が興味のある単語が望ましい、動物とか）と動詞などが書いてあるカードを別々に作って、くみあわせて面白い文章を作るといのはどうでしょうか？文章を毎回発言するようにすれば、繰り返し出てくる単語、動詞から文章を組み立てられるので、会話の練習ができる。

日にち 2017年6月3日

報告者 ボランティア保護者

生徒人数 7名

#### 1.授業内容

宿題のプリントの答え合わせと確認（漢字（数字）とディクテ）

昨日、今日、明日、明後日、明々後日の説明

すごろく作成

こま作成

#### 2.授業理解度(悪 1 .2. 3. 4. 良)

3

漢字については結構みんな理解していましたが、昨日、明日...の説明になると「？」が飛んでいる感じでした。

#### 3 良いと感じた点

めりはりがある

最後に漢字を丁寧に書きましようと言っていたのがよかったです

子どもたちがリラックスしていた

#### 4.問題点

問題点は特に感じませんでした。

#### 5.課題

課題はどこの学年でもある、同じような課題だと思います。個人の差（能力、興味、やるき、積極性）もちろん十人十色なので統一できないのは、当たり前なことなのですが、「今までのクラスよりゆっくと学習していく」という曖昧な目標の中、先生が行き詰まらないようにサポートするのも大切だと思いました。

## 授業報告 (6月10日)

報告者 保護者

参加 : 生徒 10名

10:00-10:20 : 動物ものまねゲーム

みんなで輪になって、日本語を使って動物の物まねをする。

積極的な子も、そうでない子は先生に助けてもらいながらみんなに参加。

10:20-10:45 ディクテーション。紙を忘れていた子がちらほら。個人個人のペースでできるのがよい。

10:45-11:00 : 漢字ゲーム。先生自作のカードを使って漢字と読みをマッチさせるゲーム。楽しく参加。意外とみんなできて感心。

10分休憩 : みんな各々休憩。

11:00-漢字テスト

先生にアシスタントが必要かと尋ねたところ、今日は大丈夫とのことだったので、

私はここで抜けました。

\*丸付けもそれほど時間はかかりませんでしたので、思い切って休憩から一人または二人アシスタントに入るのもありかもと思いました。先生に要相談?

その後、絵日記の発表をしたそうです。

先生を信頼しているようです。少しくラスが静かな感じもしましたが、内容によって違うそうです。生徒の年齢差は身長などを見たら気になりますが、学力からいけばこれでいいのではと思いました。

がんばりすぎているという意見もある漢字ですが、今日のゲームを見る限り、みんな自然に身につけてきているように感じました。

## 授業報告 (6月17日)

参加 : 生徒 10名

報告者 保護者

10:00-10:50 : 「のぼすおん」の名詞の見直しとひらがなビンゴゲーム  
「とけい、すいとう、こおり、おおかみ、きゅうしょく」ののぼすおんの確認。  
(同じ問題が、11時に行われたひらがなテストでも出題)  
並行して、各自ビンゴゲームの準備として、ひらがなを用紙に埋めた。  
その後、ゲームは19文字のひらがなをビンゴに回答。

リラックスした雰囲気の中、非常に活発に手が挙がり、楽しく進んだ。  
また、先生のわかりやすい絵やジェスチャーのヒントに助けられ、全員が口頭での回答か、黒板での回答を行うことが出来た。  
ビンゴになった生徒には、先生からプレゼントもあった。

10:50-11:00 : ディクテーション  
個々のペースを重視し、早く回答出来た子は3文すべてできるのは配慮もあった。

11:00-11:10 : ひらがなテスト  
前出の「のぼすおん」を含めた、ひらがなテストが行われた。  
生徒によっては、「おん」と「かな」が結びついていない子や、「かな」を左右逆に書く子も見られ、ひらがなの定着度に差がある模様。  
ただ、どのような認識であっても、先生の温かい掛け声を励みに、全員が真剣に、あきらめることなく、時間いっぱいテストに向かった姿勢は素晴らしい。

10分休憩 : みんな各々休憩。

11:20 : すごろくゲーム  
ゲームを始めるにあたって、先生からクラスの決まりを再度呼びかけ、ルール説明が行われた。

(恐縮ながら一学期最終日のため、先生とボランティアアシスタントの方にご配慮いただき、アシスタントはここまでを行いました。)

どの生徒も、先生の笑顔と前向きな声に後を押され、リラックスして授業が進みました。

また、ひらがなテストは回答が共通して難しい質問があったり、生徒それぞれの「かな」の定着度合によって、難度は異なる印象は受けたものの、生徒それぞれの回答をアシスタントとして見て回れたことで、各々が一貫して前向きに取り組む姿を見られたのは素晴らしい機会でした。

さらに、すごろくはカラフルで楽しいものに仕上がっていて、それぞれの個性も反映された仕上がりになっています。

先生の温かいお人柄が反映されたクラスになった印象を受けました。

3週間にかけてすごろく作りをグループ（4名と5名）で行いました。  
完成品がこちらです。

